

2023年7月21日

巨大左房を有する心房細動に対するカテーテルアブレーションの効果

◆研究の目的と概要◆

当院では、巨大左房を有する心房細動に対するカテーテルアブレーションの効果を調べています。本研究では、巨大左房を有する患者さんの心房細動に対するカテーテルアブレーションの有効性を確認し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年1月から、2019年12月までの間に、心房細動に対する初回カテーテルアブレーションを施行され、術前、術後に心エコー検査を受けた方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、身長、体重、既往歴、心エコーデータ、血液検査データ、カテーテルアブレーションの内容(使用した機材、手術時間、合併症)、術後3年間のイベント(心房細動再発、心不全入院、脳梗塞、転帰)

◆情報の研究利用開始日◆

2023年8月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療記録や検査結果を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
循環器内科 研究責任者 住吉 啓伸

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明